

学会発表に関する一覧表

発表者名	演題名	学会名	会場	日時
Yamazaki K, Umeno J, Takahashi A, Hirano A, Johnson T, Morizono T, Kawaguchi T, Takazoe M, Yamada T, Suzuki Y, Tanaka H, Motoya S, Hosokawa M, Arimura Y, Shinomura Y, Matsui T, Matsumoto T, Iida M, Tsunoda T, Nakamura Y, Kamatani N, Kubo M	A genome-wide association study by using imputed genotypes identifies a susceptibility locus for Crohn's disease in a Japanese population	The American Society of Human Genetics) 61th Annual Meeting	SanDiego	2014年10月19日
山崎慶子	IBD Genetics 『炎症性腸疾患関連遺伝子解明の現状と将来展望』	第6回日本炎症性腸疾患研究会学術集会	品川	2014年12月14日
K. Watanabe, A. Noguchi, T. Miyazaki, K. Morimoto, S. Hosomi, T. Yukawa, N. Kamata, H. Yamagami, S. Nakamura, T. Arakawa	Developments of novel diagnostic findings on capsule endoscopy in the small bowel of patients with Crohn's disease	10th Congress of ECCO	バルセロナ	2015年2月20日
Kenji Watanabe, Hiroko Matsumoto, Kenichi Morimoto, Yasuaki Nagami, Satoshi Sugimori, Takako Miyazaki, Noriko Kamata, Mitsue Sogawa, Hirokazu Yamagami, Tetsuya Tanigawa, Masatsugu Shiba, Kazunari Tominaga, Toshio Watanabe, Yasuhiro Fujiwara, Tetsuo Arakawa	Booster doses of the trivalent influenza vaccine do not elicit a significant immune response in patients with inflammatory bowel disease: A prospective randomized controlled trial	DDW2014	シカゴ	2014年5月4日
渡辺憲治, 松本紘子, 大藤さとこ, 福島若葉, 萩原良恵, 細見周平, 鎌田紀子, 山上博一, 荒川哲男, 廣田良夫	免疫抑制的治療中の炎症性腸疾患患者に対するインフルエンザ3価ワクチン2回接種の免疫応答に関する検討	第18回日本ワクチン学会学術集会	博多	2014年12月6日
渡辺憲治, 松本紘子, 大藤さとこ, 福島若葉, 萩原良恵, 細見周平, 鎌田紀子, 山上博一, 荒川哲男, 廣田良夫	免疫修飾的治療下の炎症性腸疾患患者に対するインフルエンザワクチン接種の有効性の検討、最終報告	厚労科研 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 ワクチンの有効性・安全性評価とVPD対策への適用に関する分析疫学研究(廣田班)平成26年度第1回班会議	東京	2014年10月12日
松本紘子, 渡辺憲治, 渡部公彦, 細見周平, 湯川智洋, 野口篤志, 山上博一, 谷川徹也, 富永和作, 渡辺俊雄, 藤原靖弘, 荒川哲男	免疫修飾的治療中の炎症性腸疾患患者に対するインフルエンザ3価ワクチン2回接種の免疫応答に関する検討	第51回日本消化器免疫学会総会	京都	2014年7月11日

V. 知的財産権・社会活動報告

知的財産権

種 類	受付(識別)番号	出願日
渡邊聡明 特許取得	特願 2009-092033 潰瘍性大腸炎患者の癌化リスクを決定する方法」	2009年4月6日
佐々木誠人 特許取得	特許第 5627184 号	2008年1月21日出願 2014年10月10日登録 2014年11月19日発行
藤谷幹浩 特許取得	特許第 5526320 号	2014年4月25日
藤谷幹浩 特許取得	特許第 5660508 号	2014年12月12日

社会活動に関する一覧表

活動者名(所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および新聞名等	活動年月日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター内科学講座)	知って得する！(新)名医の最新治療【分子標的薬で、より長く症状を抑えることが可能 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)】	週刊朝日	2015年1月16日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター内科学講座)	【からだの質問箱】	読売新聞	2015年1月25日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター内科学講座)	鳥越俊太郎 医療の現場【潰瘍性大腸炎～患者急増の難病】	BS朝日	2014年8月22日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター内科学講座)	千葉市保健所難病講演会【クローン病 最新医療情報】	千葉市保健所	2014年7月26日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター内科学講座)	第141回千葉市医師会 胃腸疾患研究会【潰瘍性大腸炎治療の新たな展開】	千葉市総合保健医療センター	2014年10月8日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター内科学講座)	香川 IBD セミナー【潰瘍性大腸炎の新治療戦略～インフリキシマブの位置づけ～】	JR ホテルクレメント高松	2014年7月4日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター内科学講座)	第104回日本消化器病学会九州支部例会 第98回日本消化器内視鏡学会九州支部例会ランチョンセミナー【潰瘍性大腸炎に対する新規治療法の意義】	大分オアシスタワーホテル	2014年12月6日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター内科学講座)	大腸肛門病学会教育セミナー ランチョンセミナー【生物学的製剤を用いた炎症性腸疾患の新治療戦略】	品川プリンス	2014年5月25日
鈴木康夫 (東邦大学医療センター内科学講座)	第112回日本消化器内視鏡学会中国支部例会 ランチョンセミナー【IBDにおける生物学的製剤の有効性】	岡山コンベンションセンター	2014年6月29日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第15回綴喜・相楽臨床懇話会 腸内細菌と健康の関わり	ハイアットリージェンシー京都	2015年1月24日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第7回あじまあの会 腸内細菌と健康の関わり	ザ・ナハテラス	2015年1月30日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第33回大腸病態治療研究会 IBDにおける腸内細菌叢の変化とその意義	ホテルグランヴィア大阪	2014年6月26日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	湖光会学術講演会 腸内細菌と健康の関わり	琵琶湖ホテル	2014年7月19日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第3回エビデンスに基づく統合医療研究会 腸内細菌と健康の関わり	リーガロイヤルNBC 中之島センタービル	2014年8月2日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	湖南消化器勉強会 腸内細菌と健康の関わり	ライズヴィル都賀山	2014年9月11日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第36回日本臨床栄養学会総会 第35回日本臨床栄養協会総会 第12回大連合大会 腸内細菌と健康の関わり	JP タワーホール & カンファレンス	2014年10月5日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第21回千葉エキスパートミーティング 炎症性腸疾患の病態における腸内細菌の役割	三井ガーデンホテル	2014年10月9日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	甲賀湖南医師会学術講演会 腸内細菌と健康の関わり	ホテルポストンプラザ草津	2014年10月30日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第22回沖縄大腸疾患研究会 炎症性腸疾患の病態と腸内細菌の関わり	ラグナガーデンホテル	2014年11月13日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第1回久留米消化器 Seminar 炎症性腸疾患の病態と腸内細菌の関わり	ホテルマリターレ創世	2014年11月17日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第62回東三河内分分泌疾患談話会 腸内細菌と健康の関わり	ホテルアソシア豊橋	2014年11月18日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	第102回日本消化器病学会中国支部例会 腸内細菌と健康の関わり	広島国際会議場	2014年11月29日
安藤 朗 (滋賀医科大学消化器内科)	IBD Young Academy 炎症性腸疾患の病態と腸内細菌の関わり	ホテルグランヴィア京都	2014年12月11日
池内浩基 (兵庫医科大学)	第113回福島大腸研究会(炎症性腸疾患周術症例の最近の動向)	サンルートプラザ福島	2014年11月28日
池内浩基 (兵庫医科大学)	第47回兵庫大腸疾患研究会(炎症性腸疾患手術症例の現状)	尼崎ニューアルカイクホテル	2014年11月22日
池内浩基 (兵庫医科大学)	第113回福島大腸研究会(炎症性腸疾患の手術適応を考えるーこんな時は手術をお勧めしますー)	大阪	2014年11月15日
池内浩基 (兵庫医科大学)	第35回日本大腸肛門病学会北海道地方会(ランチョンセミナー)(炎症性腸疾患の外科治療の現状)	札幌	2014年9月13日
池内浩基 (兵庫医科大学)	Infliximab Meeting(炎症性腸疾患の外科治療ー内科～外科へのタイミングを中心にー)	会津若松	2014年9月9日
池内浩基 (兵庫医科大学)	第11回大腸疾患外科治療研究会(炎症性腸疾患の外科治療の現状)	宜野湾	2014年7月26日
池内浩基 (兵庫医科大学)	第378回浜松消化器病研究会(炎症性腸疾患に対する外科治療の現状(特別講演))	浜松	2014年6月5日
池内浩基 (兵庫医科大学)	IBD 最新情報報告会(外科医からみる高齢者潰瘍性大腸炎の現状と術式の選択)	東京	2014年1月15日
金井隆典 (慶應義塾大学医学部)	知られざる腸の世界2	TBS ラジオ	2015年1月4日

社会活動に関する一覧表

活動者名(所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および新聞名等	活動年月日
金井隆典 (慶應義塾大学医学部)	第51回日本内科学会近畿支部生涯教育講演会 「炎症性腸疾患の診断と治療 Up-to-Date	メルパルク京都	2014年12月6日
金井隆典 (慶應義塾大学医学部)	続・腸寿のすすめ 健康人の便を移植するという試み	サンデー毎日	2014年9月28日
杉田 昭	第25回新潟炎症性腸疾患研究会 クローン病の癌化	新潟(ANAクラウンプラザホテル 新潟)	2014年11月15日
杉田 昭	第41回宮崎大腸肛門疾患研究会 炎症性腸疾患に対する外科治療の位置づけ	宮崎(宮崎観光ホテル)	2014年11月14日
小金一隆, 辰巳健志, 二木 了, 黒木博介, 福島恒男, 杉田 昭	第188回大腸肛門病懇談会 クローン病の難治性直腸肛門病変に対する外科治療	東京(東京山手メディカルセンター)	2014年9月13日
杉田 昭	日本消化器病学会関東支部第24回教育講演会「消化器病専門医が取得するべき知識とは」 炎症性腸疾患に対する外科的治療の位置づけ	東京(シェーンバッハ・サボー)	2014年6月22日
杉田 昭, 小金井一隆, 小池祐司	保土ヶ谷区医師会地域連携講演会 炎症性腸疾患(主に潰瘍性大腸炎・クローン病)に対する診断、治療の進歩と問題点ー最新の知見を含めてー	横浜(ホテルキャメロットジャパン)	2014年6月17日
杉田 昭	大腸 腫瘍性・炎症性・機能的疾患/肛門・痔核・裂肛・痔瘻3大疾患	「大腸肛門病企画」ニュース ウィーク日本版	2014年6月10日
杉田 昭	第5回「IBD若鷹の会」記念大会 in 沖縄 with IBD Seminar IBDの外科治療	ネストホテル那覇	2014年5月31日
杉田 昭	第29回高知腸疾患研究会 炎症性腸疾患に対する外科的治療の位置づけ	高知(高知パレスホテル)	2014年3月1日
杉田 昭	第5回神奈川炎症性腸疾患講演会(神奈川 IBD ミニカンファレンス) IBD 診断と治療の新展開	横浜(崎陽軒本店ダイナスティ)	2014年2月28日
杉田 昭	第7回九州大腸がん懇話会 炎症性腸疾患に合併する大腸がんの治療	福岡(スカラエスパシオ)	2014年2月15日
杉田 昭	第5回東都腸疾患フォーラム 炎症性腸疾患に対する外科的治療の位置づけ	東武ホテルレバンド東京	2014年2月6日
仲瀬裕志 (京都大学医学部附属病院内視鏡部)	埼玉市民公開講座 ここまでわかってきた炎症性腸疾患ー現在そしてこれからの課題ー	川越プリンスホテル	2014年6月8日
中村志郎 (兵庫医科大学)	公益財団法人兵庫県予防医学協会 平成26年度後期土曜健康科学セミナー 炎症性腸疾患 内科治療の最前線	神戸市健康づくりセンター 健康ライフプラザ	2014年12月6日
中村志郎 (兵庫医科大学)	第36回日本消化器内視鏡学会重点卒後教育セミナー 潰瘍性大腸炎：最新の治療と内視鏡による評価	東京ビッグサイト	2014年10月5日
中村志郎 (兵庫医科大学)	西宮市大学交流センター2014年度市民対象講座「インターカレッジ西宮」 炎症性腸疾患内科治療の最新情報	アクタ西宮	2014年4月24日
福島浩平	REDEEM シンポジウム 潰瘍性大腸炎に対する外科治療とその問題点	東京堂ホール	2014年9月13日
渡辺知佳子, 穂苅量太	日本消化器病学会市民公開講座「炎症性腸疾患のおはなし」	大宮ソニックシティー	2014年11月23日
松井敏幸 (福岡大学筑紫病院)	第3回福岡大学筑紫病院 IBD センター市民公開講座	JR九州ホール	2014年6月15日
板橋道朗 (東京女子医科大学第二外科)	日本炎症性腸疾患協会 IBD こどもキャンプ	三島市立箱根の里	2014年8月23, 24日
大川清孝 (十三市民病院)	第6回日本炎症性腸疾患研究会学術集会 IBDと間違えてはいけない疾患の鑑別診断ー感染性腸炎を中心に	TPK ガーデンシテイ品川	2014年12月14日
大川清孝 (十三市民病院)	第55回胃を考える会 感染性腸炎の内視鏡診断	松山全日空ホテル	2014年11月22日
大川清孝 (十三市民病院)	第3回松山 IBD カンファレンス 炎症性腸疾患の内視鏡診断ー診断困難例から学ぶ	松山市民病院永瀬会館 多目的ホール	2014年9月26日
大川清孝 (十三市民病院)	第6回南大阪消化器疾患“何でも相談”会 炎症性腸疾患の鑑別診断ー診断困難例から学ぶ	スイスホテル南海大阪	2014年8月29日
大川清孝 (十三市民病院)	第28回日本消化器内視鏡学会関東セミナー 炎症性腸疾患の鑑別診断ー診断困難例から学ぶ	ヤクルトホール	2014年7月20日
大川清孝 (十三市民病院)	第112回日本消化器内視鏡学会中国支部例会 感染性腸炎の内視鏡診断	岡山コンベンションセンター	2014年6月29日
大川清孝 (十三市民病院)	第46回兵庫大腸疾患研究会 感染性腸炎の診断と治療	都ホテルニューアルカイク	2014年6月14日
大川清孝 (十三市民病院)	第25回鹿児島大腸肛門病懇談会 感染性腸炎の診断と治療	鹿児島県医師会館	2014年4月19日
加藤 順 (和歌山医大)	潰瘍性大腸炎とクローン病 ～症状と治療～	湯浅保健所	2014年3月5日
加藤 順 (和歌山医大)	潰瘍性大腸炎・クローン病 最新治療と日常生活	新宮保健所	2014年11月30日
金城福則	聞いて納得セカンドオピニオン(医療相談会)	沖縄県難病相談・支援センター	2015年1月17日

社会活動に関する一覧表

活動者名(所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および新聞名等	活動年月日
佐々木誠人 (愛知医科大学消化器内科)	第17回 東名地区医療ネットワークオープン講座	メルパルク名古屋	2014年8月23日
長沼 誠	慶應義塾大学病院市民公開講座	慶應義塾大学病院	2014年6月29日
藤井久男 (奈良県立医科大学附属病院中央内 視鏡・超音波部)	難病医療相談会	奈良県難病相談支援センター	2014年8月21日
藤井久男 (奈良県立医科大学附属病院中央内 視鏡・超音波部)	厚生労働省科学研究難治性疾患克服研究事業「難治性 炎症性腸管障害に関する調査研究」班 一般医に向け た研究成果発表	保養センター美榛苑(宇陀市)	2014年11月22日
藤井久男 (奈良県立医科大学附属病院中央内 視鏡・超音波部)	厚生労働省科学研究難治性疾患克服研究事業「難治性 炎症性腸管障害に関する調査研究」班 一般医に向け た研究成果発表	生駒市医師会館	2015年3月27日
藤谷幹浩 (旭川医科大学)	Hokkaido Digestive Disease Forum 2014「腸内細菌由 来物質を用いた新規治療薬の開発」	札幌	2014年10月11日
藤谷幹浩 (旭川医科大学)	第3回IBDを学ぶ会「潰瘍性大腸炎における粘膜治癒 の診断と臨床的意義」	浜松	2014年9月26日
藤谷幹浩 (旭川医科大学)	第9回九州消化器GCAP療法研究会「腸内細菌とIBD一 菌由来物質を用いた新規IBD治療薬の開発」	福岡	2014年6月28日
藤谷幹浩 (旭川医科大学)	第6回道北がん診療連携拠点病院 共同開催公開講座 ゼロからわかるがん治療 なぜ大腸がんは増えている のか「大腸がんの検査と内科の治療」	旭川	2014年11月1日
二見喜太郎 (福岡大学筑紫病院外科)	第3回福岡大学筑紫病院IBDセンター 市民公開講座 IBD患者さんの体験記	JR九州ホール	2014年6月15日
二見喜太郎 (福岡大学筑紫病院外科)	第34回長崎炎症性腸疾患研究会 炎症性腸疾患における肛門病変	ANAクラウンプラザホテル長崎 グラバーヒル	2014年10月4日
二見喜太郎 (福岡大学筑紫病院外科)	第17回福岡大腸疾患研究会 IBDに対する直腸切断術	ホテルレオパレス博多	2014年11月27日
二見喜太郎 (福岡大学筑紫病院外科)	第6回日本炎症性腸疾患研究会学術集会 IBD肛門病変の基礎知識	TKP ガーデンシティ品川	2014年12月14日
松浦 稔 (京都大学医学部附属病院消化器内科)	京都市委託事業 難病医療講演会 『炎症性腸疾患と骨 粗鬆症』	京都府立総合福祉会館 (ハートピア京都)	2014年12月14日
光山慶一	【鳥栖三養基医師会学術講演会】 下痢・便秘の日常診療	鳥栖ホテルピアンロス	2014年10月27日
光山慶一	【第4回「久熊会」学術講演会】 炎症性腸疾患の診断と治療	ホテル日航熊本	2014年9月11日
光山慶一	【田辺三菱製薬(株)久留米営業所 講師招聘勉強会】潰 瘍性大腸炎の治療について	田辺三菱製薬(株) 久留米営業所	2014年8月26日
光山慶一	【第12回IBD Club Jr. Kyushu】 ポスト抗TNF-α抗体時代のIBD治療	福岡国際会議場	2014年8月9日
光山慶一	【第49回大牟田胃腸病研究会】 炎症性腸疾患の診断と治療 - 最近の話題	済生会 大牟田病院	2014年7月28日
光山慶一	【第32回熊本アイ・ビー・ディ研究会】 炎症性腸疾患の診断と治療 - 最近の話題	ANAクラウンプラザ ホテル熊本	2014年7月25日
渡辺憲治, 野口篤志, 山上博一, 桑 木光太郎, 光山慶一, 他	【厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業「難治性炎 症性腸管障害に関する調査研究」平成26年度第1回総会】 クローン病粘膜病変に対するバルーン小腸内視鏡とMRE の比較試験 Progress Study:国内多施設共同試験	味の素(株)本社ビル	2014年7月24日
光山慶一	【熊本セントラル病院 講演会】 炎症性腸疾患の診断と治療:最近の話題	エアポートホテル熊本	2014年6月13日
光山慶一	【第135回筑美会】 下痢と便秘の日常診療	萃香園ホテル(久留米)	2014年5月27日
光山慶一	【北九州 Digestive Disease 勉強会】 炎症性腸疾患の診断と治療 - 最近の話題	ステーションホテル小倉	2014年4月18日
光山慶一	【第16回久留米消化器癌セミナー】 IBDの診断と治療 - Colitic Cancer の話題も含めて	萃香園ホテル(久留米)	2014年3月27日
光山慶一	【第10回日本消化管学会総会学術集会】 ランチョンセミナー(6) 炎症性腸疾患の診断・治療における新たな展開	ホテル福島グリーンパレス, 他	2014年2月14日
光山慶一, 松井敏幸, 金城福則, 牧 山和也, 坪内博仁	【厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業「難治性 炎症性腸管障害に関する調査研究」平成25年度第2回 総会】 クローン病特異的バイオマーカーの検討 - 他施設共 同研究	味の素(株)本社ビル	2014年1月17日
大阪IBD	大阪IBD総会 クローン病ミニ医療講演会 進歩するクローン病の診療 ～内視鏡の位置づけを含めて～	中之島中央公会堂	2014年4月27日

社会活動に関する一覧表

活動者名(所属施設)	会の名称および講演演題等	会場および新聞名等	活動年月日
日本消化器病学会近畿支部	第 52 回市民公開講座 クローン病内科治療の最新情報	あべのハルカス	2014 年 10 月 5 日
日本消化器病学会北陸支部	第 32 回教育講演会 生物学的製剤時代の炎症性腸疾患診療の最適化と課題	石川県地場産業振興センター	2014 年 11 月 16 日

VI. 研究事業報告

厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」
平成26年度第1回総会プログラム

期日 平成26年 7月24日(木) 9:00~17:00

7月25日(金) 9:00~11:20

場所 味の素(株)本社ビル(東京都中央区京橋1-15-1)

研究代表者 鈴木 康夫

(東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座)

事務局 東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座

担当 竹内 健・高田 伸夫

TEL: 043-462-8811 (代) TEL/ FAX: 043-462-7370

E-mail: ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp

第1回総会について

1) 演題発表について

- (1) スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリディスクまたはCD-ROMに保存したものをお持ち込み下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、御自分のPC以外の機器でも試写してからお持ち下さい。)
- (2) 発表 30 分前までに B1 会場スライド受付までご提出下さい。その際、試写（出力確認）も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。
- (3) プロジェクト責任者の先生は総括を各プロジェクト冒頭で発表をお願い致します。総括は 5 分、プロジェクト計画・研究成果の発表は 4 分、討論 4 分で、お願い致します。時間厳守をお願いします。
- (4) 資料を配布される場合には、200 部を 7 月 22 日（水）必着で IBD 班事務局までお送りいただくか当日 8 時 40 分までに B1 会場まで 200 部をお持ち下さい。当日、お持ちいただく場合、会場でのコピーは困難ですので、必ず配布できる状態の資料を、200 部ご準備してください。

2) 発表データについて

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡をお願いします。

3) 会場セキュリティについて

- (1) 一階玄関ホール総会受付にて芳名録へご署名後、セキュリティカードをお受け取りいただき、改札を通過して地下一階会場へお進みください。
- (2) 館内はセキュリティ制ですのでセキュリティカードを必ず常時携帯してください。退出される際にはカードをご返却ください。カードの紛失があると全館内のセキュリティに支障を来しますので、くれぐれも紛失ならびにお持ち帰りにならないようご注意ください。

4) 駐車場について

駐車スペースはご用意しておりませんので、公共の交通機関をご利用ください。

5) 会場案内図 味の素(株)本社ビル 東京都中央区京橋 1-15-1 / Tel. 03-5250-8111



- ① JR「東京駅」八重洲中央口（徒歩 10 分）
- ② 東京メトロ銀座線「京橋駅」6 番出口（徒歩 5 分）
- ③ 都営浅草線「宝町駅」A-2 出口（徒歩 3 分）
- ④ 東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」北口（徒歩 10 分）

厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
平成26年度第1回総会プログラム

(敬称略)

平成26年7月24日(木)

開会(9:00)

I. 厚生労働省健康局疾病対策課挨拶

厚生労働省健康局疾病対策課 課長補佐 松倉 遊先生

II. 国立保健医療科学院挨拶

国立保健医療科学院健康危機管理研究部 首席主任研究官 武村 真治先生

III. 研究代表者挨拶・研究の進め方

研究代表者: 鈴木 康夫

IV. 研究報告

1 疫学・研究成果公表プロジェクト (9:20~10:00)

総括 西脇祐司 東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野

潰瘍性大腸炎発生に対するリスク因子(多施設共同・症例対照研究)

○大藤さとこ¹、福島若葉¹、廣田良夫¹、山上博一²、渡辺憲治^{2,3}、長堀正和⁴、渡辺 守⁴、西脇祐司⁵、鈴木康夫⁶(大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学²、大阪市立総合医療センター消化器内科³、東京医科歯科大学消化器内科⁴、東邦大学医学部社会医学/衛生学⁵、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁶、For the Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis.)

クローン病のリスク因子に関する多施設共同・症例対照研究(進捗報告)

○福島若葉¹、大藤さとこ¹、廣田良夫¹、山上博一²、渡辺憲治^{2,3}、長堀正和⁴、渡辺 守⁴、西脇祐司⁵、鈴木康夫⁶(大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科²、大阪市立総合医療センター消化器内科³、東京医科歯科大学消化器内科⁴、東邦大学医学部社会医学/衛生学⁵、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科⁶、For the Japanese Case-Control Study Group for Crohn's disease.)

炎症性腸疾患の記述疫学—臨床調査個人票電子化データより

中村孝裕¹、○桑原絵里加¹、西脇祐司¹、井上詠²、長堀正和³、渡辺 守³、鈴木康夫⁴(東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹、慶應義塾大学病院予防医療センター²、東京医科歯科大学消化器内科³、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科⁴)

臨床調査個人改訂への試み—治療経過と長期経過の解析にむけて—

○久松理一¹、鈴木康夫²(慶應義塾大学消化器内科¹、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科²)

2 広報活動/専門医育成プロジェクト (10:00~10:30)

総括 長堀正和 東京医科歯科大学 消化器内科

「国民・患者・一般臨床医に対する啓発・広報活動」と「IBD専門医」育成

渡辺班から引き継がれた課題と今後の方向性に関する提案

○長堀正和¹、藤谷幹浩²、穂苅量太³、中村志郎⁴、金井隆典⁵、鈴木康夫⁶(東京医科歯科大学消化器内科¹、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野²、防衛医科大学内科³、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁴、慶應義塾大学消化器内科⁵、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁶)

全国における国民・患者・一般臨床医に対する啓発・広報活動－一般向けおよび一般臨床医向け成果報告会の結果解析と今後の展望

鈴木康夫¹、渡辺 守²、長堀正和²、高後 裕³、蘆田知史³、○藤谷幹浩³、中村志郎⁴、福島浩平⁵、松井敏幸⁶、岩男 泰⁷ (東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科¹、東京医科歯科大学消化器病態学²、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野³、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁴、東北大学大学院消化管再建医工学分野・分子病 態外科学分野⁵、福岡大学筑紫病院消化器内科⁶、慶應義塾大学包括先進医療センター⁷)

IBDを専門とする消化器医に求められる育成プログラムの開発－IBD病診連携ネットワークによるコホート研究実施状況と解析結果

鈴木康夫¹、渡辺 守²、長堀正和²、高後 裕³、蘆田知史³、○藤谷幹浩³、稲場勇平³、中村志郎⁴、福島浩平⁵、松井敏幸⁶、岩男 泰⁷、藤山佳秀⁸、辻川知之⁸ (東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科¹、東京医科歯科大学消化器病態学²、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野³、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁴、東北大学大学院消化管再建医工学分野・分子病態外科学分野⁵、福岡大学筑紫病院消化器内科⁶、慶應義塾大学包括先進医療センター⁷、滋賀医科大学消化器内科⁸)

3 新たな診断基準案作成 (10:30～11:00)

総括 松井 敏幸 福岡大学筑紫病院 消化器内科

IBD診断基準の改定－カプセル内視鏡によるIBD診断への寄与

○久部高司¹、松井敏幸¹、渡辺憲治²、鈴木康夫³ (福岡大学筑紫病院消化器内科¹、大阪市立総合医療センター消化器内科²、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科³)

カプセル内視鏡所見に基づいたクローン病診断基準の確立

○松本主之¹、江崎幹宏²、鈴木康夫³ (岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野¹、九州大学病態機能内科学²、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科³)

UC 軽症例の診断と経過－個人票解析より

○桑原絵里加¹、中村孝裕¹、西脇祐司¹、井上 詠²、長堀正和³、渡辺 守³、鈴木康夫⁴、松井敏幸⁵ (東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹、慶應義塾大学病院予防医療センター²、東京医科歯科大学消化器病態学³、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵)

4 ガイドラインの改訂 (11:00～11:10)

総括 上野文昭 大船中央病院消化器肝臓病センター

炎症性腸疾患診療ガイドライン改訂にむけて－日本消化器病学会との連携－

○上野文昭¹、松井敏幸²、渡辺 守³ (大船中央病院消化器肝臓病センター¹、福岡大学筑紫病院消化器内科²、東京医科歯科大学消化器病態学³)

5 標準化を目指した治療指針の改訂 (11:10～11:30)

総括 中村 志郎 兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座 内科部門

治療の標準化を目指した潰瘍性大腸炎治療指針の改訂

○中村志郎¹、杉田 昭²、余田 篤³、蘆田知史⁴、安藤 朗⁵、伊藤裕章⁶、押谷伸英⁷、金井隆典⁸、鈴木康夫⁹、長堀正和¹⁰、松井敏幸¹¹、佐々木巖¹²、友政 剛¹³、田尻 仁¹⁴、福永 健¹、樋田信幸¹ (兵庫医科大学内科学下部消化管科¹、横浜市民病院外科²、大阪医科大学小児科³、札幌東徳洲会病院 IBDセンター⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、錦秀会インフュージョンクリニック⁶、愛染橋病院内科⁷、慶應義塾大学消化器内科⁸、東邦大学佐倉病院消化器病センター⁹、東京医科歯科大学消化器内科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東北大学生態調節外科¹²、パルこどもクリニック¹³、大阪府立急性期・総合医療センター小児科¹⁴)

治療の標準化を目指したクローン病治療指針の改訂

○中村志郎¹、杉田 昭²、余田 篤³、蘆田知史⁴、安藤 朗⁵、伊藤裕章⁶、押谷伸英⁷、金井隆典⁸、鈴木康夫⁹、長堀正和¹⁰、松井敏幸¹¹、佐々木巖¹²、友政 剛¹³、田尻 仁¹⁴、福永 健¹、樋田信幸¹ (兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹、横浜市民病院外科²、大阪医科大学小児科³、札幌東徳洲会病院 IBD センター⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、錦秀会インフュージョンクリニック⁶、愛染橋病院内科⁷、慶応義塾大学消化器内科⁸、東邦大学佐倉病院消化器病センター⁹、東京医科歯科大学消化器内科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、東北大学生態調節外科¹²、パルこどもクリニック¹³、大阪府立急性期・総合医療センター小児科¹⁴)

潰瘍性大腸炎、クローン病外科治療指針の改訂

○杉田 昭¹、亀岡信悟²、二見喜太郎³、根津理一郎⁴、藤井久男⁵、楠正人⁶、舟山裕士⁷、渡邊聡明⁸、福島浩平⁹、板橋道朗¹⁰、池内浩基¹¹、亀山仁史¹²、佐々木巖¹³、松井敏幸¹⁴ (横浜市民市民病院炎症性腸疾患センター¹、東京女子医大第2外科²、福岡大学筑紫病院外科³、西宮市立中央病院外科⁴、奈良県立医科大学中央内視鏡超音波部⁵、三重大学消化管・小児外科学⁶、東北労災病院大腸肛門外科⁷、東京大学大腸肛門外科⁸、東北大学分子病態外科⁹、東京女子医大第2外科¹⁰、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座¹¹、新潟大学消化器一般外科¹²みや健診プラザ¹³、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁴)

6 増悪・再燃因子の解析と対策プロジェクト (11:30~12:00)

総括 岡崎和一 関西医科大学 内科学第三講座

潰瘍性大腸炎における急性増悪・再燃因子の前向き実態調査 (特に腸管感染症について)

岡崎和一¹、○大宮美香¹、深田憲将¹、福井寿朗¹、佐々木誠人²、渡辺憲治³、大川清孝⁴、加賀谷尚史⁵、高添正和⁶、酒匂美奈子⁶、渡辺守⁷、長堀正和⁷、飯塚文瑛⁸、後藤秀実⁹、谷田諭史⁹、花井洋行¹⁰、飯田貴之¹⁰、平田一郎¹¹、長坂光夫¹¹、加藤 順¹²、鈴木康夫¹³ (関西医科大学内科学第三講座¹、愛知医科大学消化器内科²、大阪市立総合医療センター消化器内科³、大阪市立十三市民病院⁴、金沢大学消化器内科⁵、社旗保険中央総合病院 IBD センター⁶、東京医科歯科大学消化器内科⁷、東京女子医科大学 IBD センター⁸、名古屋市立大学消化器・代謝内科⁹、浜松南病院 IBD センター¹⁰、藤田保健衛生大学消化管内科¹¹、和歌山県立医科大学第二内科¹²、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科¹³)

炎症性腸管疾患合併症とリスク因子の解析

岡崎和一¹、○深田憲将¹、大宮美香¹、福井寿朗¹、松下光伸¹、鈴木康夫² (関西医科大学内科学第三講座¹、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科²)

炎症性腸疾患における生物学的製剤治療の医療経済学的効果に関する多施設共同研究の実施状況と結果解析

○藤谷幹浩¹、堂腰達矢¹、稲場勇平¹、上野伸展¹、盛一健太郎¹、前本篤男²³、蘆田知史²³、田倉智之⁴、高後 裕¹ (旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野¹、旭川医科大学・消化管再生修復医学講座²札幌東徳洲会病院 IBD センター³、大阪大学大学院医学系研究科・医療経済産業政策学⁴)

免疫修飾的治療下の炎症性腸疾患患者に対するインフルエンザワクチン接種の有効性の検討、最終報告

～「予防接種に関するワクチンの有効性・安全性等についての分析疫学研究：廣田班」との共同研究～

○渡辺憲治¹、松本紘子²、大藤さとこ³、福島若葉³、萩原良恵²、細見周平²、鎌田紀子²、山上博一²、荒川哲男、廣田良夫⁴ (大阪市立総合医療センター消化器内科¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学²、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学³、医療法人相生会 臨床疫学研究センター⁴)

<昼食・幹事会> (12:00~13:00)

7 的確な診断・治療の確立プロジェクト ―診断面から― (13:00~13:50)

総括 緒方晴彦 慶応義塾大学 内視鏡センター

炎症性腸疾患に対する新規内視鏡診断法・内視鏡活動度評価法の有用性と妥当性の検証(総括)

○緒方晴彦¹、鈴木康夫² (慶応義塾大学内視鏡センター¹、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科²)

潰瘍性大腸炎に対する大腸カプセル内視鏡の有用性とアトラス作成の試み

緒方晴彦¹、○細江直樹¹、長沼誠¹、松岡克善²、久松理一²、金井隆典²、小林拓³、日比紀文³、鈴木康夫⁴、
(慶応義塾大学内視鏡センター¹、慶応義塾大学消化器内科²、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター³東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁴)

潰瘍性大腸炎臨床的寛解例における大腸内視鏡検査の意義～多施設共同研究にむけて～

緒方晴彦¹、細江直樹¹、○長沼誠¹、松岡克善²、久松理一²、金井隆典²、鈴木康夫³ (慶応義塾大学内視鏡センター¹、慶応義塾大学消化器内科²、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科³)

潰瘍性大腸炎の粘膜治癒評価における新規内視鏡画像強調表示の有用性に関する検討

内藤裕二¹、○高木智久¹、内山和彦¹ (京都府立医科大学消化器内科¹)

クローン病粘膜病変に対するバルーン小腸内視鏡とMR Eの比較試験 Progress Study : 国内多施設共同試験

○渡辺憲治¹、野口篤志²、山上博一²、竹内健³、笠井ルミ子⁴、鈴木康夫³、矢野智則⁵、山本博徳⁵、長沼誠⁶、奥田茂男⁷、日比紀文⁸、大塚和朗⁹、北詰良雄¹⁰、渡辺守⁹、平井郁仁¹¹、松井敏幸¹¹、櫻庭裕丈¹²、石黒陽¹³、加藤真吾¹⁴、馬場重樹¹⁵、安藤朗¹⁵、松浦稔¹⁶、仲瀬裕志¹⁶、内山和彦¹⁷、高木智久¹⁷、内藤裕二¹⁷、桑木光太郎¹⁸、光山慶一¹⁸、沼田政嗣¹⁹ (大阪市立総合医療センター消化器内科¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学²、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科³東邦大学医療センター佐倉病院放射線科⁴、自治医科大学消化器内科⁵、慶応義塾大学医学部消化器内科⁶、慶応義塾大学医学部放射線診断科⁷、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁸、東京医科歯科大学消化器病態学⁹、東京医科歯科大学放射線科¹⁰、福岡大学筑紫病院消化器内科¹¹、弘前大学医学部消化器血液内科学講座¹²、国立病院機構弘前病院臨床研究部¹³、埼玉医科大学総合医療センター消化器肝臓内科¹⁴、滋賀医科大学消化器内科¹⁵、京都大学医学部附属消化器内科¹⁶、京都府立医科大学消化器内科¹⁷、久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門炎症性腸疾患センター¹⁸、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学¹⁹)

8 癌サーベイランス法の確立 (13:50~14:20)

総括 渡邊聡明 東京大学大学院医学系研究科 医学部臓器病態外科学講座腫瘍外科学

潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立

○渡邊聡明¹、味岡洋一²、武林亨³、友次直輝⁴、井上永介⁵、安藤朗⁶、池内浩基⁷、岡崎和一⁸、緒方晴彦⁹、金井隆典¹⁰、杉田昭¹¹、仲瀬裕志¹²、中野雅¹³、長堀正和¹⁴、中村志郎¹⁵、西脇祐司¹⁶、福島浩平¹⁷、穂刈量太¹⁸、松井敏幸¹⁹、松本主之²⁰、渡辺守²¹、日比紀文²²、鈴木康夫²³ (東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野²、慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学³、慶応義塾大学クリニカルリサーチセンター⁴、北里大学薬学部臨床統計⁵、滋賀医科大学内科学講座消化器内科⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座⁷、関西医科大学内科学第三講座(消化器肝臓内科)⁸、慶応義塾大学医学部内視鏡センター⁹、慶応義塾大学医学部消化器内¹⁰、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹¹、京都大学医学部付属病院内視鏡部¹²、北里大学北里研究所病院内視鏡センター¹³、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科¹⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁵、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹⁶、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野¹⁷、防衛医科大学校消化器内科¹⁸、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁹、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野²⁰、東京医科歯科大学消化器病態学²¹、北里大学炎症性腸疾患先進治療センター²²、東邦大学医療センター佐倉病院(内科学講座)²³)

Crohn病に合併した大腸癌の surveillance program 確立の検討 (痔瘻癌を含む)

—多施設共同研究による pilot study の中間報告 (第5報) —

○杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、水島恒和⁷、荒木俊光⁸、渡邊聡明⁹、福島浩平¹⁰、佐々木巖¹¹ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹、福岡大学筑紫病院外科²、東北労災病院大腸肛門外科³、兵庫医科大学下部消化管外科⁴、西宮市立中央病院外科⁵、東京女子医大第2外科⁶、大阪大学消化器外科⁷、三重大学消化管小児外科学⁸、東京大学大腸肛門外科⁹、東北大学分子病態外科¹⁰、みやぎ健診プラザ¹¹)

潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡におけるNBIと色素内視鏡の比較試験

Navigator Study:国内共同前向きランダム化比較試験

○渡辺憲治¹、佐野弘治¹、末包剛久¹、猿田雅之²、斎藤彰一³、田尻久雄²、岡 志郎⁴、田中信治⁴、味岡洋一⁵、嶋本文雄⁶、野村昌史⁷、竹内 健⁸、鈴木康夫⁸、大宮直木⁹、平田一郎⁹、藤井茂彦¹⁰、井上拓也¹¹、細見周平¹²、鎌田紀子¹²、山上博一¹²、西下正和¹³、福知工¹⁴、櫻井俊治¹⁵、樫田博史¹⁵、樋田信幸¹⁶、平井郁仁¹⁷、前島裕司¹⁸、江崎幹宏¹⁸、野崎良一¹⁹ (大阪市立総合医療センター消化器内科¹、東京慈恵会医科大学消化器内科²、東京慈恵会医科大学内視鏡科³、広島大学内視鏡診療科⁴、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子病態病理学⁵、県立広島大学人間文化学部健康科学科病態病理学⁶、手稲溪仁会病院消化器内科⁷、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁸、藤田保健衛生大学消化器内科⁹、京都桂病院消化器内科¹⁰、大阪医科大学第二内科¹¹、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学¹²、正啓会 西下胃腸病院¹³、済生会中津病院消化器内科¹⁴、近畿大学消化器内科¹⁵、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁷、九州大学病態機能内科学¹⁸、高野会 高野病院消化器内科¹⁹)

9 外科系プロジェクト (14:20~15:50)

総括 杉田 昭 横浜市立市民病院 炎症性腸疾患センター

外科的系臨床研究ワーキンググループ —プロジェクト研究の現状と方針—

○杉田 昭¹、渡邊聡明²、亀岡信悟³、二見喜太郎⁴、根津理一郎⁵、藤井久男⁶、楠 正人⁷、舟山裕士⁸、福島浩平⁹、板橋道朗³、池内浩基¹⁰、亀山仁史¹¹、佐々木巖¹² (横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹、東京大学大腸肛門外科²、東京女子医大第2外科³、福岡大学筑紫病院外科⁴、西宮市立中央病院外科⁵、奈良県立医科大学中央内視鏡超音波部⁶、三重大学消化管小児外科学⁷、東北労災病院大腸肛門外科⁸、東北大学分子病態外科⁹、兵庫医科大学下部消化管外科¹⁰、新潟大学消化器一般外科¹¹、みやぎ健診プラザ¹²)

a) 外科的治療法の工夫 司会 渡邊聡明

高齢者潰瘍性大腸炎に対する手術の検討 —手術適応、手術時期、手術術式、予後のアンケート調査—

○杉田 昭¹、亀岡信悟²、二見喜太郎³、根津理一郎⁴、藤井久男⁵、楠 正人⁶、舟山裕士⁷、渡邊聡明⁸、福島浩平⁹、板橋道朗²、池内浩基¹⁰、佐々木巖¹¹ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター¹、東京女子医大第2外科²、福岡大学筑紫病院外科³、西宮市立中央病院外科⁴、奈良県立医科大学中央内視鏡超音波部⁵、三重大学消化管小児外科学⁶、東北労災病院大腸肛門外科⁷、東北大学分子病態外科⁸、東京大学大腸肛門外科⁹、兵庫医科大学下部消化管外科¹⁰、みやぎ健診プラザ¹¹)

炎症性腸疾患に対する手術率、再手術率の時代的变化に関する検討

○渡邊聡明¹、杉田 昭²、池内浩基³、福島浩平⁴、安藤 朗⁵、岡崎和一⁶、緒方晴彦⁷、金井隆典⁸、仲瀬裕志⁹、中野 雅¹⁰、長堀正和¹¹、中村志郎¹²、西脇祐司¹³、穂刈量太¹⁴、松井敏幸¹⁵、松本主之¹⁶、鈴木康夫¹⁷ (東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座³、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野⁴、滋賀医科大学内科学講座消化器内科⁵、関西医科大学内科学第三講座 (消化器肝臓内科)⁶、慶應義塾大学医学部内視鏡センター⁷、慶應義塾大学医学部消化器内科⁸、京都大学医学部付属病院内視鏡部⁹、北里大学北里研究所病院内視鏡センター¹⁰、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科¹¹、兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門¹²、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹³、防衛

医科大学校消化器内科¹、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科
消化管分野⁶、東邦大学医療センター佐倉病院（内科学講座）⁷）

b) - 1 外科治療後の再燃防止 司会 池内浩基

クローン病肛門病変に関する検討 ①重症度分類 ②ハルトマン手術後の経過

○二見喜太郎¹、東 大二郎¹、平野由紀子¹、杉田 昭²、福島浩平³、池内浩基⁴、藤井久男⁵、亀岡信吾⁶、
板橋道朗⁶、楠 正人⁷（福岡大学筑紫病院外科¹、横浜市立市民病院 IBD センター²、東北大学病態外科学³、
兵庫医科大学 IBD センター⁴、奈良県立医科大学中央内視鏡部⁵、東京女子医科大学第二外科⁶、
三重大学消化管小児外科⁷）

クローン病術後吻合部潰瘍の実態と臨床的経過—プロジェクト研究の提案

藤井久男¹、小山文一¹、○植田剛²、中島洋介²（奈良医大中央内視鏡・超音波部¹、奈良医大消化器・総合外
科²）

術後の合併症・長期的予後の解明および外科治療後の再燃防止・合併症への対策に向けて

○福島浩平¹、池内浩基²、杉田 昭³、渡邊聡明⁴（東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野¹、
兵庫医科大学 IBD センター外科²、横浜市民病院外科³、東京大学腫瘍外科⁴）

回腸囊炎寛解の定義と今後の方向性

○福島浩平¹、池内浩基²、杉田 昭³、渡邊聡明⁴、渡辺和宏⁵、長尾宗紀⁵、神山篤史⁵、高橋賢一⁶、羽根田祥
⁶、二見喜太郎⁷、飯合恒夫⁸、藤井久男⁹、小金井一隆³、東大二郎⁷、吉岡和彦¹⁰、亀岡信悟¹¹、板橋道朗¹¹、楠
正人¹²、水島恒和¹³、舟山裕士¹⁴、佐々木 巖¹⁵（東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野¹、兵
庫医科大学 IBD センター外科²、横浜市民病院外科³、東京大学腫瘍外科⁴、東北大学大学院生体調節外科学分
野⁵、東北労災病院大腸肛門外科⁶、福岡大学筑紫病院外科⁷、白根健生病院⁸、奈良県立医科大学中央内視鏡・
超音波部⁹、関西医科大学付属香里病院外科¹⁰、東京女子医科大学第二外科¹¹、三重大学消化管・小児外科学
¹²、大阪大学消化器外科¹³、仙台赤十字病院外科¹⁴、みやぎ健診プラザ¹⁵）

b) - 2 司会 福島浩平

潰瘍性大腸炎術後の Pouch 機能の検討—術後早期機能率、長期機能率、Pouch failure の要因と治療—

○池内浩基¹、内野 基¹、福島浩平²、杉田 昭³、渡邊聡明⁴、船山裕士⁵、亀岡信悟⁶、板橋道朗⁶、小金井一
隆³、楠 正人⁷、荒木俊光⁷、亀山仁史⁸、藤井久男⁹、吉岡和彦¹⁰、根津理一郎¹¹、水島恒和¹²、二見喜太郎¹³、
東 大二郎¹²、佐々木 巖¹⁴（兵庫医科大学 IBD センター外科¹、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態
外科学分野²、横浜市民病院炎症性腸疾患センター³、東京大学大腸肛門外科⁴、東北労災病院大腸肛門外
科⁵、東京女子医科大学第二外科⁶、三重大学消化器外科⁷、新潟大学消化器外科⁸、奈良県立医科大学中央内
視鏡・超音波部⁹、関西医科大学付属香里病院外科¹⁰、西宮市立中央病院外科¹¹、大阪大学消化器外科¹²、福岡
大学筑紫病院外科¹³、みやぎ健診プラザ¹⁴）

潰瘍性大腸炎術後の消化管病変について（出血を中心に、サイトメガロウイルス腸炎を含む）

福島浩平¹、池内浩基²、鈴木康夫³、渡辺和宏⁴、○神山篤史⁴、長尾宗紀⁴、高橋賢一⁵、羽根田 祥⁵、杉田 昭
⁶、二見喜太郎⁷、藤井久男⁸、吉岡和彦⁹、板橋道朗¹⁰、渡邊聡明¹¹、楠 正人¹²、橋本拓造¹⁰、辰巳健志⁵、内野
基²、河口貴昭¹³、高津典孝¹⁴、石黒 陽¹⁵、仲瀬裕志¹⁶、大宮美香¹⁷、平井都仁¹⁸、池田圭祐¹⁹、山田哲弘²、松
岡克善¹⁹、長沼 誠¹⁹、福地 工²⁰、長堀正和²¹、国崎玲子²²（東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外
科学分野¹、兵庫医科大学 IBD センター外科²、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科³、東北大学大学院生
体調節外科学分野⁴、東北労災病院大腸肛門外科⁵、横浜市民病院外科⁶、福岡大学筑紫病院外科⁷、奈良県立医
科大学中央内視鏡超音波部⁸、関西医科大学付属枚方病院外科⁹、東京女子医科大学第二外科¹⁰、帝京大学消
化器外科¹¹、三重大学消化管 小児外科学¹²、社会保険中央病院内科¹³、岡大学消化器内科筑紫病院消化器内科¹⁴、
弘前大学光学医療診療部¹⁵、京都大学消化器内科¹⁶、関西医科大学付属香里病院消化器内科¹⁷、福岡大学筑紫病
院病理¹⁸、慶応義塾大学医学部消化器内科¹⁹、大阪済生会中津病院消化器内科²⁰、東京医科歯科大学消化器病態
学²¹、横浜市立大学消化器内科²²）

術後生物学的製剤使用後の再々手術例の実態調査

○福島浩平¹、池内浩基²、杉田 昭³、渡邊聡明⁴、高橋賢一⁵、亀岡信悟⁶、板橋道朗⁶、小金井一隆³、楠 正人⁷、荒木俊光⁷、藤井久男⁸、吉岡和彦⁹、根津理一郎¹⁰、水島恒和¹¹、二見喜太郎¹²、東大二郎¹²、亀山仁史¹³、船山裕士¹⁴、佐々木 巖¹⁵ (東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野¹、 兵庫医科大学 IBD センター外科²、横浜国立市民病院炎症性腸疾患センター³、東京大学大腸肛門外科⁴、東北労災病院大腸肛門外科⁵、東京女子医科大学第二外科⁶、三重大学消化管・小児外科学⁷、奈良県立医科大学中央内視鏡・超音波部⁸、関西医科大学付属香里病院外科⁹、西宮市立中央病院外科¹⁰、大阪大学消化器外科¹¹、福岡大学筑紫病院外科¹²、新潟大学消化器一般外科¹³、仙台赤十字病院外科¹⁴、みやぎ健診プラザ¹⁵)

10 合併症/副作用への対策プロジェクト (15:50~16:30)

総括 仲瀬裕志 京都大学医学部附属病院 消化器内科学

CMV感染合併潰瘍性大腸炎に対する診断・治療法に関する今後の展開

サイトメガロウイルス合併潰瘍性大腸炎におけるガンシクロビル・GMAA 併用療法の有効性について

仲瀬裕志¹、○吉野琢哉^{1,2}、松浦稔¹、河村卓二²、安藤貴志³、安藤 朗⁴、馬場重樹⁴、河南智晴⁵、中村志郎⁶、横山陽子⁶、青山伸郎⁷、岡崎和一⁸、大宮美香⁸、渡辺憲治⁹、鎌田紀子⁹、樫田 博史¹⁰、井上卓也¹¹、辻 賢太郎¹³、西下正和¹⁴、福知 工¹⁵、本郷仁志¹⁶、澤田 康史¹⁷、大花正也¹⁸ (京都大学医学部附属病院¹、京都第二赤十字病院²、社会保険京都病院³、滋賀医科大学附属病院⁴、大津赤十字病院⁵、兵庫医科大学附属病院⁶、青山内科クリニック⁷、関西医科大学付属枚方病院⁸、大阪市立大学附属病院⁹、近畿大学附属病院¹⁰、大阪医科大学附属病院¹¹、田附興風会北野病院¹²、大阪赤十字病院¹³、西下胃腸病院¹⁴、済生会中津病院¹⁵、藤田胃腸病院¹⁶、生駒内科消化器内科クリニック¹⁷、天理よろづ相談所病院¹⁸)

潰瘍性大腸炎に合併するサイトメガロウイルス(CMV)再活性化症例の予後の検討

仲瀬裕志¹ ○長沼 誠²、松岡克善²、石黒 陽³、大宮美香⁴、平井郁仁⁵、池田圭祐⁶、福地 工⁷、長堀正和⁸、山田哲弘⁹、鈴木康夫⁹ (京都大学消化器内科¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、国立病院弘前病院消化器血液科³、関西医科大学香里病院消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器科⁵、福岡大学筑紫病院病理⁶、大阪済生会中津病院消化器内科⁷、東京医科歯科大学消化器病態学⁸、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁹)

m u c o s a l PCR法をマーカーとしたCMV感染合併潰瘍性大腸炎の治療適正化

仲瀬裕志¹、○松浦 稔¹、長沼 誠²、松岡克善²、藤井俊光³、山田哲弘⁴、福井寿朗⁵、高津典孝⁶ (京都大学医学部消化器内科・内視鏡部¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、東京医科歯科大学消化器病態学³、東邦大学医療センター佐倉病院内科⁴、関西医科大学内科学第三講座⁵、福岡大学筑紫病院消化器内科⁶)

炎症性腸疾患における血栓症発症の頻度および危険因子に関する多施設共同研究の実施状況

○藤谷幹浩¹、安藤勝祥¹、伊藤貴博¹、稲場勇平¹、上野伸展¹、盛一健太郎¹、前本篤男^{2,3}、蘆田知史^{2,3}、田邊裕貴¹、高後 裕¹ (旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野¹、旭川医科大学消化管再生修復医学講座²、札幌東徳州会病院 IBD センター³、国際医療福祉大学病院消化器内科⁴)

11 炎症性腸疾患患者の特殊型への対策プロジェクト (16:30~17:00)

総括 穂苺量太 防衛医科大学校内科学

妊娠出産の転帰と治療内容に関する多施設共同研究の渡辺班から引き継がれた課題と今後の方向性に関する提案

三浦総一郎¹、○穂苺量太¹、高本俊介¹、渡辺知佳子¹、長堀正和²、渡辺 守²、松岡克善³、長沼 誠³、日比紀文⁴、本谷 聡⁵、樋田信幸⁶、松本誉之⁶、国崎玲子⁷、吉村直樹⁸、渡辺憲治⁹、上野義隆¹⁰、石原俊治¹¹、杉田 昭¹²、小金井一隆¹²、池上幸治¹³、松本主之¹³、江崎幹浩¹³、仲瀬裕志¹⁴、松井敏幸¹⁵、鶴身小都絵¹⁵、加賀谷尚史¹⁶ (防衛医科大学校内科学¹、東京医科歯科大学消化器内科²、慶應義塾大学医学部消化器内科³、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁴、札幌厚生病院 IBD センター⁵、兵庫医科大学内科学下部

消化管科⁶、横浜市立大学消化器内科⁷、社会保険中央総合病院 内科⁸、大阪市立大学病院 消化器内科⁹、広島大学病院 内視鏡診療科¹⁰、島根医科大学消化器内科¹¹、横浜市民病院外科¹²、九州大学病院消化器内科¹³、京都大学消化器内科¹⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁵、金沢大学附属病院 消化器内科¹⁶)

高齢者炎症性腸疾患診療の現状把握—多施設共同研究の経過報告と今後の展望—

三浦総一郎¹、○高本俊介¹、穂刈量太¹、渡辺知佳子¹、田中浩紀²、本谷 聡²、松本史弘³、長堀正和⁴、渡辺 守⁴、松岡克善⁵、金井隆典⁵、小林 拓⁶、日比紀文⁶、横山 薫⁷、小林清典⁷、谷田論史⁸、瀬戸山仁⁹、藤田 浩⁹、坪内博仁⁹、高橋晴彦¹⁰、松井敏幸¹⁰、加藤真吾¹¹ (順不同)

(防衛医科大学校内科¹、札幌厚生病院 IBD センター²、自治医科大学付属さいたま医療センター消化器科³、東京医科歯科大学消化器内科⁴、慶應義塾大学医学部消化器内科⁵、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁶、北里大学東病院消化器内科⁷、名古屋市立大学病院消化器内科⁸、鹿児島大学医学部付属病院消化器内科⁹、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁰、埼玉医科大学総合医療センター消化器内科¹¹)

小児期発症炎症性腸疾患の治療に関する全国調査

○清水俊明¹、友政 剛²、田尻 仁³、国崎玲子⁴、石毛 崇⁵、山田寛之⁶、新井勝大⁷、大塚直一¹、余田 篤⁸、牛島高介⁹、青松友槻⁸、永田智¹⁰、内田恵一¹¹、竹内一夫¹²、穂刈量太¹³、三浦総一郎¹³、渡辺 守¹⁴、鈴木康夫¹⁵

(順天堂大学医学部小児科¹、パルこどもクリニック²、大阪府立急性期・総合医療センター小児医療センター³、横浜市立大学附属市民総合医療センター⁴、群馬大学大学院医学系研究科小児科学⁵、大阪府立母子センター消化器内分泌科⁶、国立成育医療研究センター消化器科⁷、大阪医科大学泌尿生殖発達医学講座小児科⁸、久留米大学医療センター小児科⁹、東京女子医科大学小児科¹⁰、三重大学医学部小児外科¹¹、埼玉大学教育学部学校保健学講座¹²、防衛医科大学校内科¹³、東京医科歯科大学消化器内科¹⁴、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科¹⁵)

事務局連絡

(17:00 終了予定)

懇親会 (17:30~)

I. 研究報告(続)

1.2 腸内細菌プロジェクト (9:00~9:20)

総括 安藤 朗 滋賀医科大学医学部 内科学講座(消化器内科)

炎症性腸疾患Dysbiosis解析の現況と今後の展望

○安藤 朗¹、藤本剛英¹、高橋憲一郎¹、今枝広丞¹、西田淳史¹、馬場重樹¹、藤山佳秀¹(滋賀医科大学 消化器内科¹)

難治性腸疾患に対する健常人糞便移植の安全性および有効性の検討

○金井隆典¹、松岡克善¹、水野慎大¹、南木康作¹、武下達也¹、竹下 梢¹、中里圭宏¹、森 溝人¹、三枝慶一郎¹、矢島知治¹、長沼 誠²、久松理一¹、緒方晴彦²、岩男 泰³(慶應義塾大学医学部 消化器内科¹、慶應義塾大学医学部 内視鏡センター²、慶應義塾大学医学部 予防医療センター³)

1.3 的確な診断・治療の確立プロジェクト -バイオマーカー- (9:20~9:50)

総括 金井隆典 慶應義塾大学医学部 消化器内科

IBD新規バイオマーカーとしてのLRGの実用化

○新崎信一郎¹、松岡克善²、飯島英樹¹、武下達矢²、世良田 聡³、辻井正彦¹、金井隆典²、竹原徹郎¹、仲哲治³(大阪大学大学院医学系研究科・消化器内科学¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、医薬基盤研究所・免疫シグナル プロジェクト³)

遺伝子メチル化解析による潰瘍性大腸炎関連大腸癌高リスク群絞り込みの検討

○田原智満¹、平田一郎¹、中野尚子¹、長坂光夫¹、大宮直木¹、中川義仁¹、柴田知行¹(藤田保健衛生大学 消化器内科¹)

CAP治療効果予測因子としての温感の意義についての総括

○飯塚政弘^{1, 2}、相良志穂¹、衛藤 武²、沼田友華³、柳原 悠³、熊谷 誠³(秋田赤十字病院附属あきた健康管理センター¹、秋田赤十字病院消化器科²、秋田赤十字病院臨床工学課³)

1.4 的確な診断・治療の確立プロジェクト -治療面から- (9:50~10:40)

総括 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野

インフリキシマブによる寛解維持治療における効果不十分なクローン病患者を対象とした栄養療法併用効果確認試験(CHERISIER Trial)

○久松理一¹、中村志郎²、長堀正和³、横山 薫⁴、国崎玲子⁵、辻川知之⁶、仲瀬裕志⁷、渡辺憲治⁸、渡辺 守³、日比紀文⁹、Cheriser 試験参加施設(慶應義塾大学消化器内科¹、兵庫医科大学内科学下部消化管科²、東京医科歯科大学消化器内科³、北里大学医学部消化器内科⁴、公立大学法人横浜市立大学大学院附属市民総合センターIBDセンター⁵、国立病院機構滋賀病院⁶、京都大学医学部附属病院⁷、大阪市立総合医療センター消化器内科⁸、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁹)

多施設共同医師主導型臨床研究「アダリムマブと免疫調節剤併用中の寛解クローン病患者における免疫調節剤休薬の検討Diamond2」

○久松理一¹、松本主之²、仲瀬裕志³、渡辺憲治⁴、渡辺 守⁵、日比紀文⁶ Diamond2 試験参加施設(慶應義塾大学医学部消化器内科¹、九州大学大学院病態機能内科学²、京都大学消化器内科³、大阪市立総合医療センター消化器内科⁴、東京医科歯科大学消化器病態学⁵、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁶)

クローン病の小腸狭窄に対する内視鏡的拡張療法—多施設共同前向き試験の現状報告—

○平井都仁¹、松本主之²、松井敏幸¹（福岡大学筑紫病院消化器内科¹、岩手医科大学消化器内科消化管分野²）
多施設共同臨床試験「難治性潰瘍性大腸炎に対するタクロリムスとインフリキシマブの治療効果比較試験」

○松岡克善¹、長沼 誠¹、金井隆典¹、日比紀文²、渡辺 守³、樋田信幸⁴、松浦 稔⁵、猿田雅之⁶、朝倉敬子⁷、鈴木康夫⁸（慶応義塾大学消化器内科¹、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター²、東京医科歯科大学消化器病態学³、兵庫医科大学内科下部消化管科⁴、京都大学医学部消化器内科⁵、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科⁶、東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻疫学保健学講座⁷、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁸）

特殊型炎症性腸疾患におけるアダリムマブとステロイドの前向き無作為化比較試験、

Castle Study：国内多施設共同試験

○渡辺憲治¹、松本主之²、仲瀬裕志³、久松理一⁴、平井郁仁⁵、小林清典⁶、国崎玲子⁷、長堀正和⁸、竹内 健⁹、大藤さとこ¹⁰、福島若葉¹⁰、稲場勇平¹¹、櫻庭裕丈¹²、遠藤克哉¹³、勝野達郎¹⁴、飯塚文瑛¹⁵、福田勝之¹⁶、秋山純一¹⁷、本田 穰¹⁸、佐藤 公¹⁹、佐々木誠人²⁰、谷田諭史²¹、加賀谷尚史²²、安藤 朗²³、内藤裕二²⁴、岡崎和一²⁵、鎌田紀子²⁶、山上博一²⁶、中村志郎²⁷、上野義隆²⁸、河内修司²⁹、石田哲也³⁰、沼田政嗣³¹、金城福則³²、金城 徹³³、鈴木康夫⁹、日比紀文³¹、渡辺 守⁸（大阪市立総合医療センター消化器内科¹、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野²、京都大学消化器内科・内視鏡部³、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵、北里大学東病院消化器内科⁶、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁷、東京医科歯科大学消化器病態学⁸、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁹、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹⁰、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野¹¹、弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座¹²、東北大学消化器内科¹³、千葉大学消化器内科¹⁴、東京女子医科大学消化器病センター¹⁵、聖路加国際病院消化器内科¹⁶、国立国際医療研究センター消化器内科¹⁷、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野¹⁸、山梨大学医学部第1内科¹⁹、愛知医科大学消化器内科²⁰、名古屋市立大学消化器内科²¹、金沢大学消化器内科炎症性腸疾患センター²²、滋賀医科大学消化器内科²³、京都府立医科大学消化器内科²⁴、関西医科大学消化器肝臓内科²⁵、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学²⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²⁷、広島大学内視鏡診療科²⁸、松山赤十字病院胃腸センター²⁹、大分赤十字病院消化器内科³⁰、鹿児島大学大学院消化器疾患生活習慣病学³¹、浦添総合病院消化器内科³²、琉球大学光学医療診療部³³、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター³⁰）

1.5 内科治療における個別化と最適化（10:40～11:00）

総括 中野 雅 北里大学北里研究所 内視鏡センター

潰瘍性大腸炎クローン病の内科治療における個別化と最適化

○中野 雅^{1, 2}、小林 拓¹、日比紀文¹（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター¹、北里大学北里研究所病院 内視鏡センター²）

多施設共同医師主導型臨床試験「インフリキシマブ治療によって寛解維持された潰瘍性大腸炎患者に対するインフリキシマブ治療の中止 および継続群の寛解維持率比較研究—HAYABUSA—」：進捗報告

○小林 拓¹、久松理一²、仲瀬裕志³、平井都仁⁴、松本主之⁵、本谷 聡⁶、渡辺憲治⁷、田中正則⁸、日比紀文¹、北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、京都大学消化器内³福岡大学筑紫病院消化器内科⁴、岩手医科大学消化器内科消化管分野⁵、JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBDセンター⁶、大阪市立総合医療センター消化器内科⁷、弘前市立病院臨床検査科⁸）

投与開始早期の血中濃度測定を利用した潰瘍性大腸炎に対するインフリキシマブ寛解導入効果予測の試み
～多施設共同前向き研究に向けて～

○小林 拓¹、中野 雅¹、竹内 健²、鈴木康夫²、日比紀文¹（北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科²）